

庄原市長期総合計画

基本構想 概要版

平成 18 年 (2006) 年～平成 27 年 (2015) 年



庄原市
SHOBARA CITY

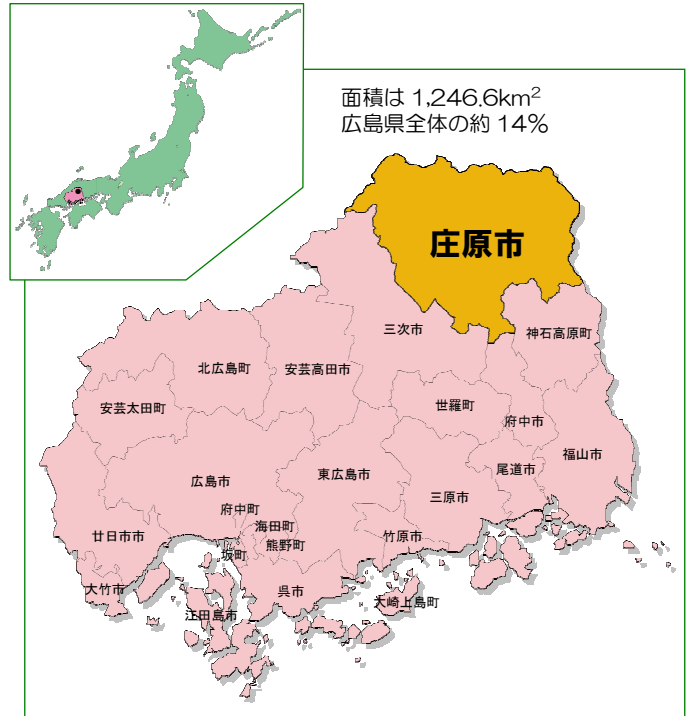
長期総合計画とは

(1) 計画の趣旨

本市は、平成17(2005)年3月31日に、庄原市、西城町、東城町、口和町、高野町、比和町、総領町の市町村合併により、面積が全国で11番目(平成18[2006]年3月31日現在)という広大な“まち”として誕生しました。

長期総合計画は、この広大な“まち”に「生まれた人が誇りを持ち」、「暮らす人がしあわせを感じ」、「訪れる人が喜びを享受できる」まちづくりの指針であり、また、地方自治法の規定に基づく、本市のまちづくり、地域づくりの最も上位に位置付けられる行政計画です。

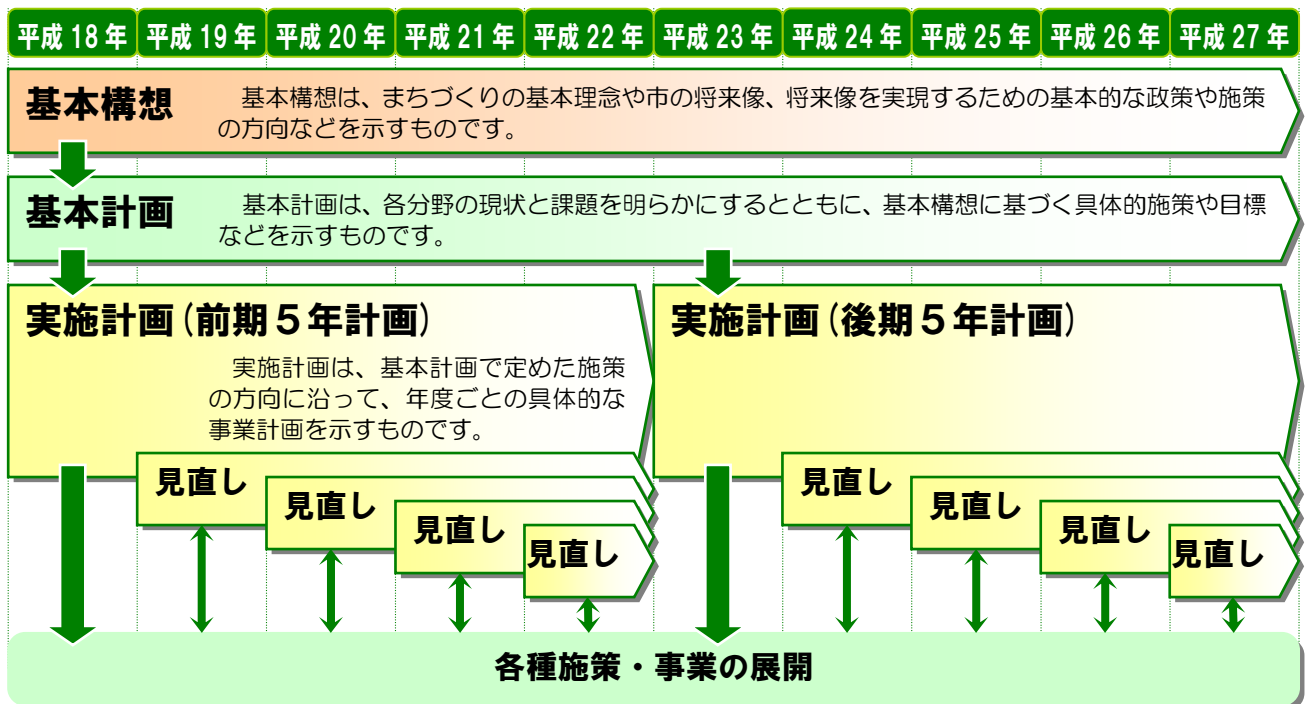
■ 庄原市の位置、面積



(2) 計画の構成と期間

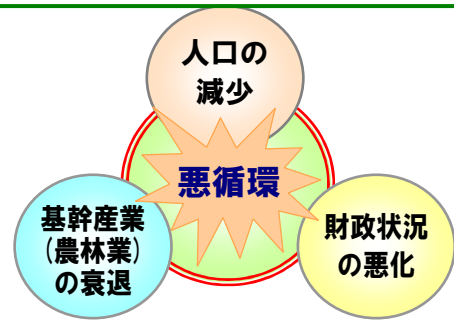
長期総合計画は、基本構想・基本計画及び実施計画で構成します。

基本構想・基本計画の計画期間は、平成18(2006)年度から、平成27(2015)年度までの10年間とします。実施計画の計画期間は、前期5年・後期5年とし、毎年度、見直しを行います。



深刻な問題

本市の深刻な問題として、「人口の減少」、「基幹産業の衰退」、「財政状況の悪化」の3項目が挙げられ、これらが相互に関係する中で地域活力の低下を招いています。

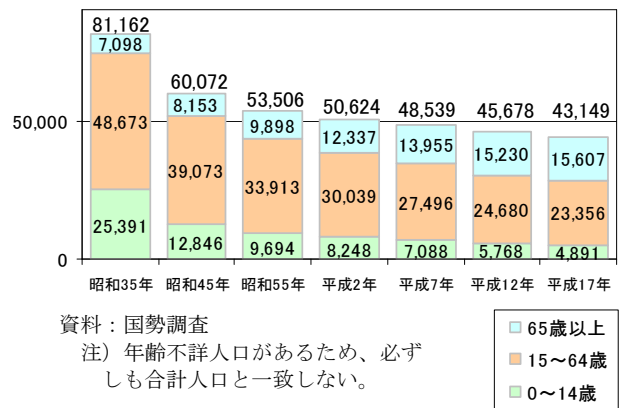


● 人口の減少

本市の人口は、65歳以上の高齢者が増加しているのに対し、生産年齢人口(15~64歳)、年少人口(0~14歳)が大きく減少しています。

特に、経済活動を支える生産年齢人口や地域の未来を担う年少人口の減少は、産業の低迷や税収の減少、さらには地域活力の低下に直接的な影響を与え、未来のまちづくりを進めるうえで深刻な問題となっています。

■ 人口の推移 (人)

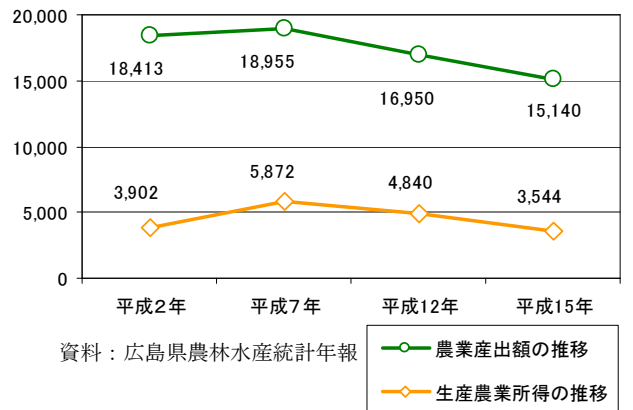


● 基幹産業(農林業)の衰退

農林業は、本市の基幹産業として、多くの市民に認知されていますが、かつての安定した収入手段も、担い手の減少や高齢化、農林地の荒廃などが顕著となり、市民生活・地域経済を支える力の低下が否めない状況にあります。

基幹産業である農林業の衰退は、単に農家世帯の収入減だけでなく、経済循環の基盤を損なうことを意味し、商業をはじめとする他の産業分野や人口減少にも少なからず影響を与えることから、経済活動や地域活力の面でも、深刻な問題となっています。

■ 農業産出額、生産農業所得の推移 (百万円)

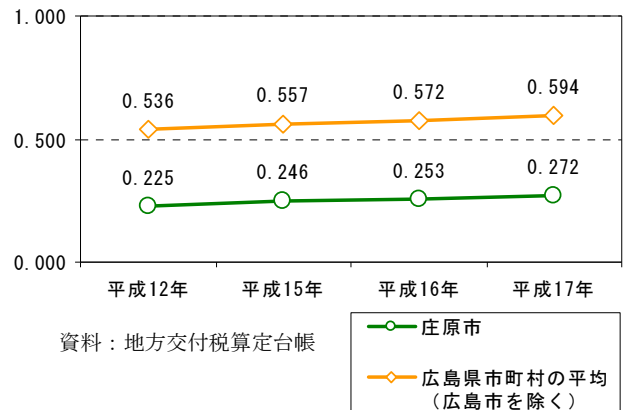


● 財政状況の悪化

本市の財政は、市税をはじめとする自主財源に乏しく、地方交付税、地方債等に依存せざるを得ない財政構造の中で、硬直化が進んでいます。

全国的には、一定の景気回復が見られるものの、本市においては公共事業の縮小や基幹産業の低迷などから景気回復の基調が鈍く、財政面でも社会保障費や公債費が増加する反面、税収は年々減少しています。また、三位一体改革による地方交付税等の減少などが大きく影響し、危機的かつ深刻な状況に直面しています。

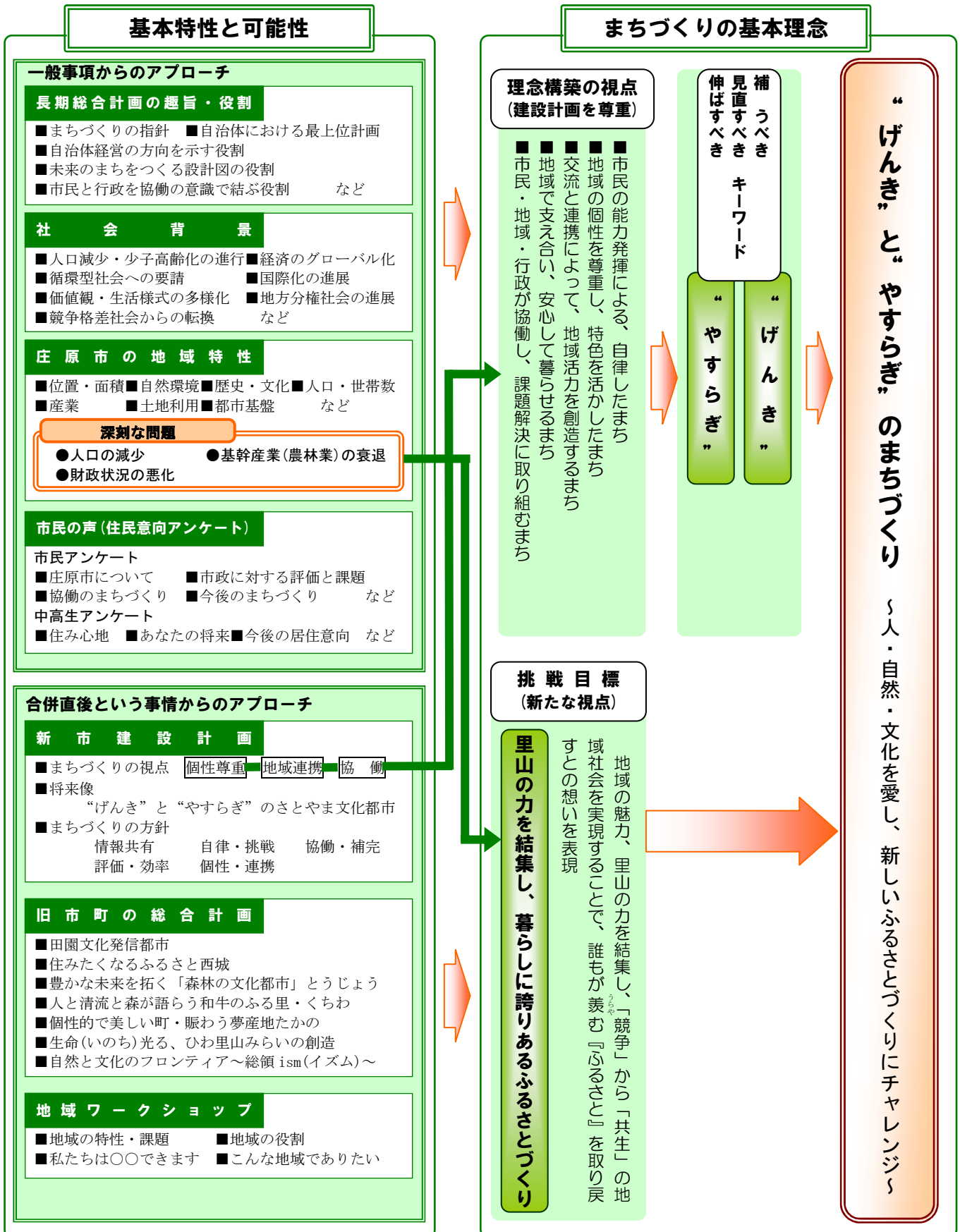
■ 財政力指数の推移



基本理念と将来像

(1) 基本理念

まちづくりの基本理念は、市民と行政が共有し、未来の庄原市を創造する「基本的な考え」を意味しています。



(2) 将来像

将来像は、地域の自然環境や歴史・文化を改めて見つめ直し、忘れかけている豊かな心を取り戻すことで誰もが「しあわせ」を実感し、人も地域も輝くまちを創造するための“めざすべき本市の姿・未来に向けた目標”です。

将来像

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

人と地域が輝く、美しい日本のふるさと

市街地の航空写真

“げんき”のイメージ

- ①市民の意識や意欲の醸成
- ②市民活動や地域活力の向上
- ③定住人口や交流人口の拡大
- ④生活基盤や都市基盤の整備
- ⑤産業の活性化
- ⑥地域の担い手の育成

…など

“やすらぎ”のイメージ

- ①豊かな自然環境の保全
- ②住みなれた地域で生活できる環境
- ③共生の意識を持って支え合う暮らし
- ④安心して子どもを産み育てられる環境
- ⑤「しあわせ」を実感できるまちづくり

…など

本市を包み込む豊かな自然に、地域で暮らし、地域を守り、地域を育てた先人の暮らしが溶け込む中で形成された「里山」の環境や文化に改めて目を向け、継承・活用することで、『さとやま文化都市』を創造します。

●人と地域が輝く 美しい日本のふるさと

市内の各地域は、歴史・文化をはじめ、気候・風土、人々の営みなど、長い年月をかけて培われた多様で個性的な資源・財産が存在しており、これらは本市発展への大きな可能性、魅力と捉えることができます。

人が輝くことで地域が輝き、地域が輝くことで人が輝く。地域の個性や特性、魅力を再認識し、磨くことで、なつかしく、新しく、そして美しい『日本のふるさと』を構築します。

地域展望のイメージフレーズ

旧市町には、それぞれの歴史や営みの中で育まれた個性・特性が、地域の力や魅力、財産として存在しており、人口規模や面積、交通条件等にかかわらず、本市を形成する地域として認知し、その形態を維持することが求められています。



将来像

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

～人と地域が輝く、美しい日本のふるさと～



設定の視点

- 1 各地域の個性や特性が市の将来像を支えるという視点
- 2 旧市町を“本市を形成する地域”として認知する視点
- 3 地域課題を克服し、一体的な発展をめざすという視点

「各地域の特長」や「こんな地域でありたいという願い」を表現する
地域展望のイメージフレーズ

都市空間に笑顔が集い
心ふれあう
庄原地域

神話の森林が心弾く
交流文化のふるさと
西城地域

人と自然の調和のふるさと
東のターミナルタウン
東城地域

和牛の里にきらめく清流
地域の輪と和が宝物
口和地域

高原の風が四季を彩る
人と自然の夢産地
高野地域

吾妻の恵みと川のせせらぎ
自然科学の宝庫
比和地域

湖畔の水辺と山野草
里山を楽しむ
総領地域

クラスター（ぶどうの房）型の未来都市づくり

地方都市の形態は、施設や交通機関、機能、人が集積する中心市街地から、地形や道路状況などに応じて規模を縮小しながら放射状に居住区域が広がっているのが一般的です。

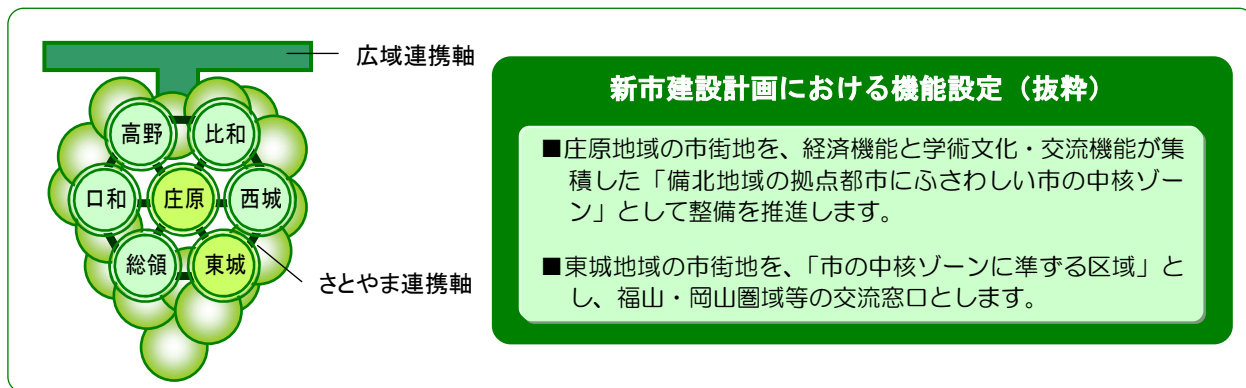
本市では、従来の集積型の都市形態ではなく、それぞれの地域を核としたクラスター（ぶどうの房）型のまちづくりを進めます。

1 地域の個性や特性を活かし、伸ばす中で、それぞれの「ふるさと（ぶどうの粒）」を充実

2 この「ふるさと（ぶどうの粒）」を人、情報、交通、道路など、あらゆる物や手段によって有機的に結ぶ、「ふるさとのネットワーク」を構築

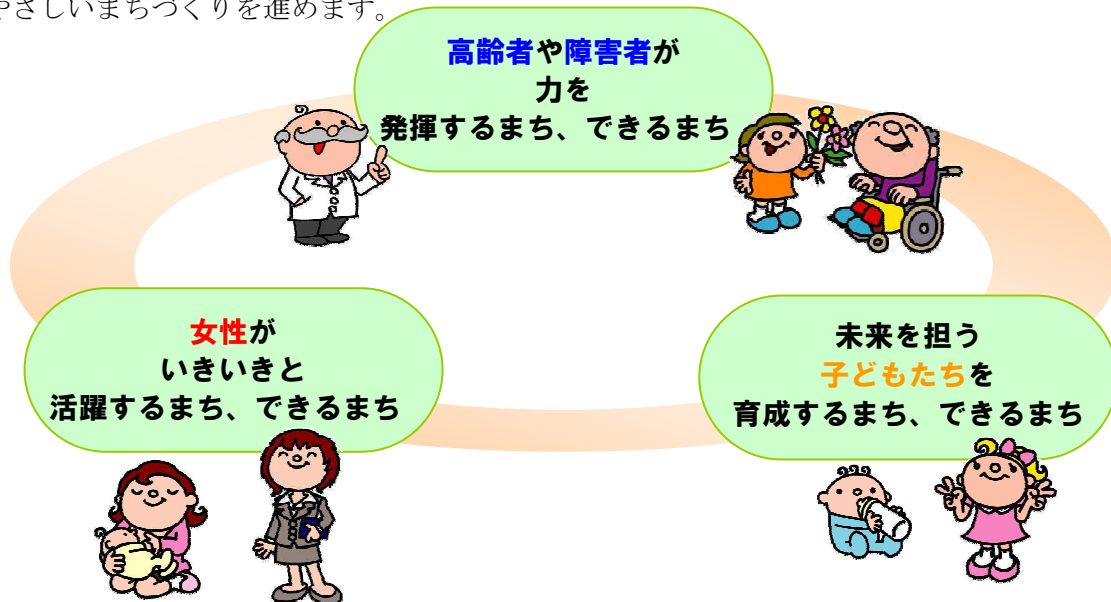
3 それぞれの特長を発揮・連携しながら発展する「クラスター（ぶどうの房）型」の未来都市を形成

■ クラスター（ぶどうの房）型の未来都市イメージ



大切にすべき視点

具体的な事業計画の策定や事業を実施する上での「大切にすべき視点」として、次の3項目を設定し、これらが成果のひとつとして期待できる施策、若しくは期待できる内容での実施に努め、全ての人に活力ある、やさしいまちづくりを進めます。



● 10年後の目標人口は 43,000 人

本市の人口は、著しい減少が続いており、平成13(2001)年に作成された財団法人日本統計協会資料によると、10年後にあたる平成27(2015)年の人口は、35,964人と予測されています。

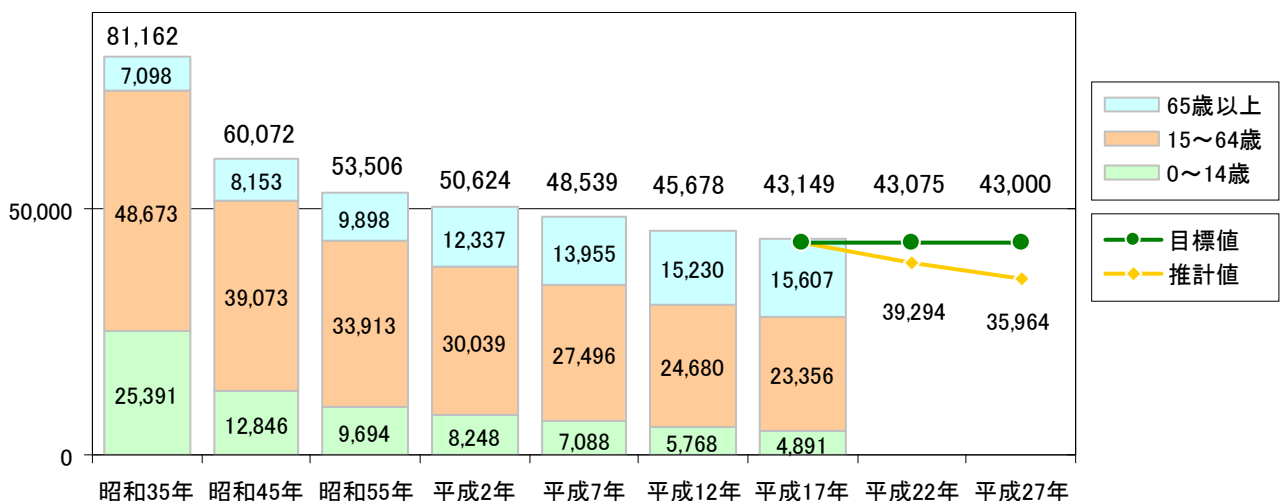
本計画では、市民の意見や留意すべき点などを総合的に判断し、10年後の目標人口を43,000人と設定します。

● 留意すべき点

- ① 人口は、地方交付税などを算定する基礎数値であり、市の活力を生み出す基本となる指標である。
- ② 新市建設計画において、平成27年の目標人口を現状維持と設定している。
- ③ 住民意向アンケート調査では、複数回答ながら、52.2%の市民が「人口の減少、少子高齢化の進行」を不安・不満な点として回答している。
- ④ また、「転出している子や孫がいる」世帯のうち、73.5%の世帯が「子どもや孫の帰郷を望む」と回答している。

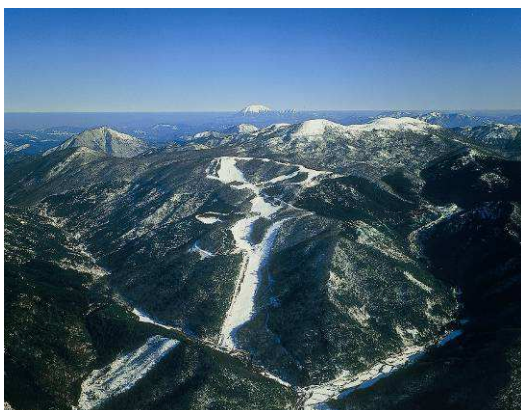
■ 推計人口と目標人口

(人)



資料：国勢調査、推計値 財団法人日本統計協会

注) 平成22年人口は、平成17年と平成27年の中間値。年齢不詳があるため、必ずしも合計人口と一致しない。



重点戦略プロジェクト

本市のような地方都市は、これまでの全国一律の経済成長を前提とした地域経営では、早晚行き詰まる恐れが多分にあります。そのため、時代の方向を見据え、豊富に所在する地域資源や個性を有効に活用する中で、他の地域にはない「庄原の特性」を最大限に発揮する取り組みが必要です。

そのため、次のとおり重点戦略プロジェクトを設定し、戦略的・重点的な取り組みを進めます。

重点戦略プロジェクト

『みどりの環』経済戦略ビジョン ～しあわせ倍増プラン～

『みどりの環』経済戦略ビジョンは、本市の「強み」である農村・農林業資源を最大限に活用することで地域内の経済循環を創出し、市民所得の向上をはじめ、かつての心豊かな暮らしや美しいふるさとを取り戻すためのプロジェクト構想です。

● 知恵を活かした戦略の設定

蓄積された資源を掘り起こし、有効に活用するためには、人々の「知恵」が必要であり、内外の知恵を出し・集め・使うことで、新たな付加価値を生み出します。

(1) 農業自立振興プロジェクト

(2) 木質バイオマス活用プロジェクト



● 来訪者へ感動を与える戦略の設定

“感動こそが人を動かす原動力”であることを再認識し、本市を訪れる人々に多くの感動と癒しを与える「自然と共生する日々の営み」を取り戻すとともに、その暮らしや文化を「地域の光」として示し・伝えることで、心引かれる憧れの地の構築をめざします。

(1) 観光振興・定住促進プロジェクト



将来像

“げんき”と“やすらぎ”のさとやま文化都市

人と地域が輝く、美しい日本のふるさと

大切にすべき視点

- 高齢者や障害者が力を発揮するまち、できるまち
- 女性がいきいきと活躍するまち、できるまち
- 未来を担う子どもたちを育成するまち、できるまち

クラスター型の未来都市づくり

- それぞれの個性を發揮・連携しながら発展するクラスター（ぶどうの房）型の都市を形成
- 地域の個性や特性を活かした「ふるさと」の構築

基本政策

基本となる分野別政策

1章

協働の力で
笑顔が輝くまち
自治・協働

2章

さとやま資源の活用で
地域が輝くまち
産業・交流

3章

自然との共生で
暮らしが輝くまち
環境・基盤・定住

4章

心と体の健康づくりで
命が輝くまち
保健・福祉・医療

5章

ふるさとを愛する心で
人が輝くまち
教育・文化

6章

重点戦略プロジェクト

先導的な役割を
果たす重点政策

基本施策（中項目）

- 1 協働のまちづくり
- 2 人権尊重のまちづくり
- 3 男女共同参画のまちづくり
- 4 効果的・効率的な行政運営

- 1 農林水産業の振興
- 2 商工業の活性化
- 3 観光産業の推進
- 4 新たな地域産業の創出

- 1 循環型社会の構築
- 2 都市環境の整備
- 3 新たな定住促進
- 4 生活の安全確保

- 1 児童福祉の充実
- 2 高齢者の自立支援
- 3 障害者の自立支援
- 4 地域福祉の推進
- 5 社会保障の充実
- 6 健康づくりの推進
- 7 医療の充実

- 1 新しい時代の学校教育の創造
- 2 生涯学習の充実
- 3 地域文化の振興と継承
- 4 スポーツの振興
- 5 交流事業の推進

『みどりの環』経済戦略ビジョン



具体的な 10 年後の目標を設定します。

指標項目	単位	現状 (H17)	目標 (H27)	備考
総職員数 (西城市民病院の技師職を除く。)	人	667	598 以下 (H22)	定員適正化計画
市税の収納率(現年分) (市民税、固定資産税、軽自動車税、 たばこ税、鉱産税、入湯税の合計)	%	97.5	98.0以上 (H18以降)	収納額/調定額
入込み観光客数(年間)	万人	220	300	現状値の35%増
農家1戸当りの生産農業所得額(年間)	千円	754 (H16)	830	生産農業所得額/総農家数 現状値の10%増
リサイクル率(全体)	%	36.0	41.0	資源化量/ごみ処理量 現状値の10%増
元気な高齢者の割合	%	76.7	79.0	介護認定を受けていない老年人口 /老年人口 現状値の3%増
医師1人当たりの人口	人	532 (H16)	500	総人口/医師数(歯科医師を除く)
児童生徒の基礎学力調査の*通過率 * 通過率とは、正答者数を調査対象 者数で割った百分率のこと。	%	小学校 国語 81.2 算数 86.9 中学校 国語 72.1 数学 69.5 英語 74.0	85.0 88.0 80.0 80.0 80.0	広島県「基礎・基本」定着状況調査



市章



庄原の「し」をモチーフに、中国山地の里山を舞台とし、文化や自然、そして人々の愛をやさしく育みながら、未来へ飛躍していく想いを表しています。

若葉色は、里山の自然や新鮮さ、チャレンジ精神を表現。中心のやまぶき色は、文化と人々の温かさ・やすらぎを表しています。

(平成 17 年 3 月 31 日告示)

市の花：サクラ



市内の随所に植えられるなど、古くから多くの市民になじみ親しまれています。これからも市民みんなで大切に育てていきたいという気持ちを込めています。

(平成 18 年 8 月 1 日制定)

市の木：ブナ



市内を流れる西城川の水源でもある中国山地に、豊かなブナの純林を形成し、全国有数の天然記念物として大切にされています。

本市の雄大で懐深い自然の象徴としています。

(平成 18 年 8 月 1 日制定)

庄原市長期総合計画(基本構想・基本計画)の全編は、庄原市ホームページで公開しています。

<http://www.city.shobara.hiroshima.jp/>

庄原市長期総合計画 基本構想 (概要版)
平成 18 (2006) 年度～平成 27 (2015) 年度

発行／ 庄原市 地域振興部企画課

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目 10-1 TEL (0824) 73-1111 FAX (0824) 72-3322